

## 令和元年 自閉症フレームワークセミナー

将来に向けてどんな場所どんな状況でも自立を目指す支援～般化を考えよう～

午前：自閉症の特性（講義）

午後：般化の困難さへの対応（講義・演習・ディスカッション等）

令和元年最初のセミナーを企画しました。今回のテーマは「般化」です。なかなかセミナーテーマにはあがらない内容だと思いますが、日々子ども達の様子を見ていると、場所や人が変わるとできていたことができなくなったり、同じ意味合いのことに気付けなかったり、同じようなことを繰り返し教えても似ている場面であまりかかない・・・といったようなことがよく起こります。これは1つ1つのエピソードに、色々な特性が影響していると思いますが【学んだことを色々な場面や状況で応用していくことが難しい】＝【般化がうまくいかない】ということが背景にあり、この般化の困難さがうまくいかないことに影響があることが感じられます。だからこそ、子ども達への支援指導は、療育先だけで考えては意味がなく、子ども達が過ごしている家や園、学校、地域での気付きや状況を踏まえた療育であること。子ども達の色々な状況や場面、概念、人の気持ち等の般化が進んでいくように、地道に積み上げていくことが、子ども達の療育、発達支援ではとても大切なことだと感じています。

未来図でも日々子ども達がどんな場所でもどんな状況でも、子ども達が自立していけるよう般化について考えながら進めていますが、本当に一筋縄ではいかないことが多いです。今回のセミナーでは、般化の困難さとはどんなことか？その般化の困難さが日常のどのようなうまくいかない状況に繋がっているのか？又般化の困難さがある自閉症の方に対し、どういう手順で般化の困難さの支援や指導を進めるのか？何をしていけばいいのか？ということについて、水野先生にわかりやすく教えて頂こうと企画をしました。是非この機会に「般化」について、一緒に学んでみませんか？ご参加お待ちしております！

### ★午後のセミナーを受講して頂く際のお知らせ★

午後は支援者対象の研修です。午後参加される方は基本的に1日受講をお勧めしますが、過去の水野先生のセミナーを受講されている方は午後のみ受講でも可能です。テーマは般化としていますが、これまでのセミナーでも説明をしている様々な自閉症の特性も踏まえる内容となっています。

講演内容	午前：「自閉症の特性講義（注目・整理・般化の特性等）」 午後：「般化の困難さへの支援指導（講義・演習・ディスカッション）」		
日時	平成31年7月28日（日曜日） 受付開始 9:15 開始 9:30 午前 9:30～12:00 午後 13時～16時15分 （途中休憩&昼食休憩あり 12:00～13:00）		
場所	倉敷市民会館 第4会議室	定員	午前 50名程度 午後 30名程度
参加費	午前のみ：1500円 午後のみ：3500円 1日参加者：5000円		
申込方法	可能な方はメール、メールがない方はFAXで申し込みをしてください。 mail <a href="mailto:miraizu6@sky.megaegg.ne.jp">miraizu6@sky.megaegg.ne.jp</a> FAX 086-466-1193 問い合わせ→（電話 086-466-1192）		

令和元年 7 月 28 日（日） 未来図セミナー 申込用紙

① <small>ふりがな</small> 申込者		② 所属先 OR 保護者	
③ 連絡先 (自宅又は所属先)	住所：	電話：	
④ 受講希望枠 (〇をつける)	午前 (どなたでも対象) ・ 午後 (支援者対象) ・ 1 日 (支援者対象)		
⑤ 領収書について	必要な方は宛名をご記入下さい。 宛名 ( )		
⑥ 午後・1日参加者への質問 【日常で感じる般化に関する意見や知りたいこと、悩み等何でも良いので教えて下さい (セミナー構成の参考にさせていただきます)】 ↓			

※申し込み者には、受講の可否について連絡をさせていただきます。

※今回頂いた情報はこのセミナーのみ使用し、それ以外の用途は使用しません。

※昼食につきましては、各自でご準備ください。

※講演中の撮影や録音はご遠慮ください

会場は、倉敷市民会館：第4会議室です。

講師紹介

水野 敦之 氏 【自閉症教育・支援コンサルタント】

- ・ 宮崎県社会福祉事業団 宮崎中央発達障害者支援センター センター長
- ・ 川崎医療福祉大学 大学院非常勤講師
- ・ 著書：『「きづき」と「できる」から始める フレームワークを活用した自閉症支援』  
：『生活デザインとしての個別支援計画ガイドブック』
- ・ 国内各地の事業体・地域での自閉症支援コンサルタントやコーディネーターとして活躍されており、自閉症の人たちの生活や行動・余暇・就労など、幼児期から成人期までの幅広い取り組みをされています。